



## 内装建具工場におけるプレス工程への 誘電加熱装置の導入による省エネ

この工場では、室内ドアを生産しており、プレス工程において熱媒油でドア表面から熱を伝える間接加熱により内部の接着剤の固着を行っていました。

今回、既設プレス装置を誘電加熱方式へ更新することにより、接着剤のみを直接加熱できるようになり、大幅な生産時間の短縮と省エネ・省コストを実現しました。

また、表面材や芯材へ熱を加えることがなくなったため、反りや芯痕映り等による不良についても減少させることができました。

### ■ 改善効果（設計上試算）

#### ● 従来のシステムと比べて

- ・ 年間一次エネルギー使用量：37%低減
- ・ 年間エネルギー費用：45%低減
- ・ 年間CO<sub>2</sub>排出量：46%低減\*

### ■ 設備概要

- 誘電加熱式プレス装置：80kW（能力）×1台

※ 電力のCO<sub>2</sub>排出係数：0.570kg-CO<sub>2</sub>/kWh  
A重油のCO<sub>2</sub>排出係数：2.71kg-CO<sub>2</sub>/ℓ

